

マレーシア GP : バルトスがセパンで表彰台を獲得。 カネットはポイント圏内でフィニッシュを果たす

マレーシアでの激闘を経て、ファンティック・レーシングはバリー＝バルタスが再び表彰台を獲得。チームランキング首位の座をさらに盤石なものとした。



MotoGP 第 20 戦マレーシア GP が、10 月 24 日から 26 日にかけてマレーシアのセパン・インターナショナル・サーキットで行われ、Moto2 クラスに参戦するファンティック・レーシングのバリ＝バルタスが 3 位表彰台を獲得した。また、チームメイトのアロン＝カネットも、ポイント圏内である 15 位フィニッシュを果たした。

土曜日の予選（Q2）では、バルタスが 2 番手を獲得した。今年のマレーシア GP には、リアタイヤに昨年よりも 1 ステップ柔らかいコンパウンドがアロケーションされており、スーパーソフトによって、大幅にタイムが短縮された。バルタスも 2024 年までのオールタイム・ラップ・レコード（2 分 4 秒 412）を更新したライダーの一人で、2 分 3 秒 420 を記録した。また、カネットも 2 分 3 秒 625 をマークし、8 番手となった。

日曜日は、Moto3 クラス決勝レース前のサイティングラップで深刻なクラッシュが発生した。このアクシデントによって Moto3 のレースがディレイとなり、タイムスケジュールが変更されて Moto2 クラスの決勝レースは MotoGP クラスの決勝レース後に行われることになった。

Moto2 クラスの決勝レースは現地時間 16 時 30 分にスタートしたが、2 周目に起こったジョー・ロバーツ（オンリーファンズ・アメリカン・レーシングチーム）のクラッシュ後、マシンを安全に撤去するために赤旗が提示されてレースは中断。当初のレース周回数は 17 周だったが、11 周に短縮されて再スタートとなった。

バルタスは 1 列目から好スタートを切り、序盤からトップ集団に加わった。34 度という高い気温の中、タイヤマネジメントが難しい状況にもかかわらず、完璧にペースをコントロール。中盤にはマヌエル・ゴンザレス（リキモリ・ダイナボルト・インタクト GP）、終盤にはダニエル・オルガド（CFMOTO・RCB・アスパーチーム）をかわして、残り 3 周で 3 番手に浮上した。

そして、見事 3 位でチェッカー。今季 7 度目の表彰台を獲得した。バルタスはこのレース結果によってチャンピオンシップのランキング 3 番手に浮上した。ランキングトップとの差は 35 ポイントである。



一方、カネットは予想以上に厳しいレースを強いられた。8番手からのスタートで序盤にポジションを落とし、全力を尽くしたものの、厳しいコンディションの中でペースを維持するのが難しく、挽回することはかなわなかった。それでも15位でフィニッシュし、チャンピオンシップにおける貴重な1ポイントを獲得した。カネットはチャンピオンシップのランキングトップと43ポイント差の、ランキング5番手に後退している。

ファンティック・レーシングにとっては、ポジティブな結果となった。チームランキングでは依然としてトップを守り、残り2戦でランキング2番手のリキモリ・ダイナボルト・インタクトGPに対して、54ポイント差を築いている。2週間後となる次戦のポルトガルGPでは、初のチームタイトル獲得に向けて、“マッチポイント”を迎える可能性がある。



第21戦ポルトガルGPは、11月7日から9日にかけて、ポルトガルのアウトドローモ・インターナショナル・アルガルベで行われる。

バリー=バルタス：

「本当に素晴らしい週末だったよ。でも、正直言って、キャリアの中でも最も厳しい日曜日の一つだった。今朝Moto3で起こったことの数時間後、レースに集中するのは、本当に難しかったんだ。この表彰台は彼らに捧げたい。彼らが無事であることを願っている。

気温がとても高く、特にフロントタイヤのマネジメントが大きな課題だった。チームとともにうまく取り組んでいたのも、僕は自分が走行中に何をすべきかしっかり理解していた。フロントが滑っても冷静に対処して状況をマネジメントし、最後までいいペースで走りきることができた。また表彰台に上がれて本当にうれしいよ。

チャンピオンシップにとっても素晴らしい結果だ。もし昨年、『タイトル争いをしているだろう』と言われたとしても、そんなバカな、と思ったはずだ。まだ戦いは終わっていない。それが本当に素晴らしいよね。この結果は家

族、ガールフレンド、そしてチームのためのものだ。今はしっかり休んで、残り 2 戦に備えたい」

アロン=カネット：

「予想より厳しいレースになった。8 番手からのスタートは簡単ではなく、全力で走ったけれど、思ったように順位を上げることができなかった。好ペースを維持するにはかなり厳しいコンディションだったけれど、重要な 1 ポイントを獲得できてよかったよ。次に向けて前を向き、残り 2 戦に向けてしっかり準備を整えたいね」

ロベルト=ロカテリ（チームマネージャー）：

「バリーは短く、暑く、過酷なレースを見事にマネジメントし、3 位という素晴らしい結果を獲得しました。困難な状況下で非常にポジティブなパフォーマンスを見せました。一方のアロンは、序盤の数周で他車との接触があってポジションを落とし、短い周回数で挽回するのは非常に難しかったです。

次戦のポルティマオは、アロンが昨年優勝した特別なサーキットです。シーズンを最高の形で締めくくれるよう、二人のライダーとともに臨みます」

■Moto2 クラス チャンピオンシップ ランキング

	ライダー	チーム	バイク	ポイント数	トップとの差
1	D.モレイラ	Italtrans Racing Team	KALEX	256	
2	M.ゴンザレス	LIQUI MOLY Dynavolt Intact GP	KALEX	247	9
3	B.バルタス	Fantic Racing	KALEX	221	35
4	J.ディクソン	ELF Marc VDS Racing Team	BOSCOSCURO	215	41
5	A.カネット	Fantic Racing	KALEX	213	43

■ライダープロフィール

アロン=カネット

1999 年 9 月 30 日生まれのスペイン人。2016 年にロードレース世界選手権 Moto3 クラスデビューを果たし、2019 年にはランキング 2 位を獲得。2020 年、Moto2 クラスにステップアップ。2024 年にファンティック・レーシングに移籍し、ポルトガル GP で初優勝を飾った。このシーズンは小椋藍に次ぐランキング 2 位を獲得。2025 年、チャンピオン獲得を目指す。

目下、最大の目標は「世界チャンピオンになること」。幼少期は父親からカートを与えられたが、「バイクのほうがいい」と言って乗り始めた。その当時からゼッケン「44」を使用している。

バリー=バルタス

2004 年 5 月 3 日生まれのベルギー人。2020 年に Moto3 クラスデビュー。2022 年に Moto2 クラスにステップアップした。初表彰台は 2024 年のカタール GP。この年、オートレース宇部レーシング・チームから鈴鹿 8 耐にも参戦している。2025 年、ファンティック・レーシングに移籍し、表彰台の常連になりつつある。なお、9 月 13 日に 2026 年もファンティック・レーシングから Moto2 クラスに参戦することが発表された。

バルタスの父親がバリー=シーン（伝説的イギリス人 WGP チャンピオン）の大ファンで、そのためにバルタスは「バリー」と名付けられた。ゼッケンの「7」もこれに由来するもの。

FANTIC

RACING

 **FOPPIANI**
FSL SHIPPING & LOGISTICS

PALLEX
ITALIA

Bilba.  **randstad**

 **mut**
The Italian Group

LINO SONEGO
EST. 1972

 **izeta**

 **Blumaq**

 **ALTAVISTA**
BUSINESS

iconsulting

POYTE
POWER TO THE PEOPLE

ARTLANTIS
INTEGRATED BUSINESS SOLUTIONS

Roberfo

 **MESPIC**

Abrex-System

MFN

FORAMEC

TRANSANTOLIN

 **Sofia**
MUTUARI

 **MOTOREX**

 **PIRELLI**

 **FIAMM**

 **IVECO**
INDUSTRIAL CARS

 **AKRAPOVIC**

 **DELORTO**

 **INSS**

 **SEPTAR**

 **AFAM**

 **domino**

 **RECIMA**

 **VERO**

 **EMG**

 **RCB**

 **BST**
BOLLS

 **DBK**

 **Rend**

 **WFS**

 **AERRE**
Engineering & Technology solutions